

# 変革

# の現場

2021.10.2022

商工中金では、顧客の「事業性評価」の事業を理解し、さまざまな提案を行うための信頼関係を深め、コミュニケーションツールとして、「事業性」を把握するための取引先をよく知る活動全般を指す。その際に使われるツールがVレポの課題解決を重視する活動を展開している。

全店的な危機対応業務の不正で業務改善命令を受けた商工中金では、2018年10月に「経営改革プログラム」を発表し、組織が一体となって「経営支援総合金融サービス事業」へ転換し、「真にお客さま本位で長期的な視点から、中小企業及中小企業組合の価値向上に貢献」する方針を打ち出した。

## 商工中金

### 顧客支援、起点は事業性評価

木村光孝・執行役員 経営サポート部長は、「企業は金融機関に『自社を理解してほしい。そのうえで経営課題に対するソリューションを提供してほしい』と期待している。そこで、事業性評価のプロセスは三つのK（確認、共感、共有）をキーワードとしていくための起点となっ



商工中金本店。10月15日撮影。営業窓口（営業してVレポ甲子園）に共感して、解決への店において融資渉外業（任意参加を開催して取り組みを共有している。過去5回の開催の事業性評価で対象に研修を担当し、それを具現化してVレポの作成のきっかけとなった。ZK（全員）に「ZK（全員）経営サポーター計画」の進め方を伝え、固変分という人材育成プログラムも実施している。ソリューションの作成を通じて、もっと経営支援のスキルを向上させたいという職員のニーズに合わせた対応したもので、昨年の10月から開始した。期間は3カ月で、10月15日開始した。参加者は、

木村光孝・商工中金執行役員 経営サポート部長の話  
「事業性評価の取り組みは、社内の意識改革や構造改革に大きな影響を与えている。提案商品を起点としたプロダクトアウト型から、お客様のニーズを起点としたマーケットイン型へと、考え方を転換している事例がかなり出てきている。具体的には店舗実査、工場実査がかなり増えてきた。しっかりと生産や接客などの現場を見なければ、お客様の経営課題はわからないといった意識が若い職員にも芽生えてきた。営業事務（営業店において主に営業窓口の事務決も事業性評価が起点になるだろう）が営業窓口に帯び、

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、

### 取引先ごとに個性あるレポート完成

信太哲・日本生産性本部主席経営コンサルタントの話

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、



「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、

「事業性評価の取り組みを強化する際に、組織全体として必要となる知識やスキルのレベルアップを図るため、主に対象としたマイス（再生支援）に限定したB2B（再生支援）の3コースを、講師1人5人の参加者がチームを作り、議論を重ねる実践的な研修で、